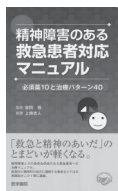


書評

●八田耕太郎(順天堂大学大学院准教授/精神・行動科学)

精神障害のある
救急患者対応マニュアル

必須薬 10 と治療パターン 40

監修：宮岡 等
執筆：上條 吉人B6 変型 頁 312 2007 年
定価 3,990 円(本体 3,800 円+税 5%)
[ISBN978-4-260-00496-1] 医学書院刊

本書は、精神障害者の身体合併症のうち救急性のある疾患 40 パターンについての治療マニュアルである。マニュアルといっても、その病態から治療までの明快な解説は、生化学的あるいは生理学的理解を可能にしており、深みのある実用書兼専門書といえる。精神障害者の身体合併症に関する書籍はこれまでにもあるが、精神科側から論じれば身体疾患に関する病態生理の深みに欠けていたり、非精神科医が書けば精神疾患への理解の浅さから机上論的であったりといった記憶がある。その点で本書は、納得しながら読める好著である。このような内容の書籍を生み出したのは著者の稀有な経歴にもよるのであろう。

例えば、向精神薬の急性中毒に対する処置とその根底にある考え方の明快な論理性は、東工大で化学を修得したがゆえと思われる。実際、著者は中毒研究の第一人者である。さらに、深い精神疾患への理解のもとに身体疾患への治療が組み立てられているため、精神科医が読んでも臨場感がある。その背景には、東京医科歯科大学や東京都立広尾病院で精神科医として研鑽を積んだ経験が生きているのであろう。そして、精神障害者の身体合併症のうち救急性のある疾患として 40 パターンを選び出し読者を納得させる的確さは、救急医

として北里大学救命救急センターで最重症の身体合併症に対応してきた実力のなせる業であろう。

このような卓越した著者から生み出された本書の特徴は、病態の神経科学的な理解や生理学的理解を容易にするイラストと治療手順のフローチャートの多さである。手技のイラストも多く、配慮が行き届いている感がある。さらに、症例とともに呈示される病態を特徴づける心電図や画像所見の実物が多いことは出色である。例えば、水中毒による急性ナトリウム血症の項では、著明な脳浮腫を呈した来院時頭部 CT とナトリウム補正により脳浮腫が改善した後の頭部 CT を対比して掲載している。そのほか、水中毒による慢性低ナトリウム血症に比較的に急激なナトリウム補正をした際の中心性橋脱髄を思わせる頭部 MRI、過量服薬による低体温に伴う心電図異常 (Osborn 波)、摂食障害患者の急性胃拡張や向精神薬による麻痺性イレウスの腹部単純 X 線と CT、向精神薬による尿閉の腹部単純 CT、肺動脈血栓塞栓症の胸部単純 X 線と造影 CT、カルバマゼピン誘発性徐脈性不整脈のホルター心電図、抗精神病薬誘発の torsade de pointes を捉えた心電図、急性三環系抗うつ薬中毒による心室性頻拍の心電図などが収載されている。さらに秀逸なのは、豊富な文献的裏づけがなされ、現場主義ながらエビデンスにこだわって「信じられていること」に対してもその是非を明快に示している。著者自身の研究成果も多く盛り込まれて、著者の真摯な医学的探求心が伝わってくる。

学術性に裏打ちされた現場感覚の本であることから、内科系・外科系を問わず研修医、看護師から専門医まで、一般救急の現場あるいは精神医療の現場で仕事をしている、あるいはする可能性のある人に薦められる。手軽に携行できる、しかし中身の濃い本である。